

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健学		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火曜日・木曜日 16:00～17:30		
授業の目的・概要	「心のケア」が重要視される現代社会の中で、精神障害の予防および精神的健康の保持・増進の意義、地域精神保健活動の重要性について理解する。社会の動向から、大規模災害がもたらすメンタルヘルスの問題、学校でのいじめや不登校の問題、うつ病をはじめとする職場におけるメンタルヘルスなど諸問題がある。現状の家庭・学校・職場・地域・医療施設におけるメンタルヘルスの実情を理解し、メンタルヘルス上の予防、早期発見、治療、リカバリー（回復）を当事者の強み（ストレングス）を生かしながら支援の方法、メンタルヘルスケアに関連する法律などについても学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	各自が受講した内容を振り返り、理解を深めると共に、不十分な点については、その都度、質問すること。また、各自が与えられた課題について、教科書、参考文献などを活用し組むことが望ましい。				
教科書	新版 精神保健 第3版 /監:石井 厚 /医学出版社 /2019				
参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 第5版 /著:武井麻子 /医学書院 /2020				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間の心身の健康の向上に考えることができる。		HSU(3)(4),NS(1)(4)		
②	人生各期における発達段階、危機について説明できる。		HSU(3)(4),NS(1)(4)		
③	大規模災害がメンタルヘルスにもたらす問題について説明できる。		HSU(3)(4),NS(1)(4)		
④	生活の場における精神保健の問題の背景、要因について説明できる。		HSU(3)(4),NS(1)(4)		
⑤	メンタルヘルスに関連する法律について説明できる。		HSU(3)(4),NS(1)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	ガイダンス、精神保健、予防精神医学について学習する。	講義	予習：教科書 p1～6 を読んでおくこと。	4	
2	心の働きとその理解、精神障害の原因に学習する。	講義	予習：教科書 p24～33 を読んでおくこと。ト：関心のある発達課題について述べる	4	
3	人格の形成：エクソンの発達理論について学習する。	講義	予習：教科書 p34～37 を読んでおくこと。課題：関心のある発達課題について述べる。	4	
4	家庭・学校における精神保健について学習する。	講義	予習：教科書 p125～135 を読んでおくこと。	4	
5	職場・施設における精神保健について学習する。	講義 グループワーク	予習：教科書 p135～140,p147～151 を読んでおくこと。	4	
6	災害とメンタルヘルスについて学習する。	講義 グループワーク	予習：教科書 p151～157 を読んでおくこと。	4	
7	地域精神保健福祉について学習する。	講義	予習：教科書 p161～168 を読んでおくこと。	4	
8	7回目までの講義の振り返り、ディスカッションを行う。	プレゼンテーション	課題：ディスカッションを通し学んだこと気づいたことをまとめる。	2	
試	試験なし				

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	70	0	0	30	100	
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
レポート	①	✓	提示した課題に対する学生の理解度や自分の考えが述べられているのか、文字数、誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価に含む。また、学びを通し、新たな気づきがリアクションペーパーに、記述されているかなどについて総合的に評価する。					課題が提出された時点で、気になる点について指導する。必要に応じ、コメントを入れて返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	グループワーク、プレゼンテーション時、自分の意見を述べられているか、他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどを評価する。					発言されて意見を尊重するが、解釈が誤っている場合には、指導する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備 考								
他担当教員								
教員の実務経験	看護師・看護管理者として 30年間の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院や大学教育で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。							
その他	・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。							